

## 看護職員の負担軽減及び処遇の改善のための計画

2025/6/19  
オホーツク勤医協 北見病院

2025年度の目標	計画	評価(10月、2月)
子育て中の職員に対する処遇改善	子の看護休暇 ・0歳から小学校6年生在学の子を療育する職員 ・子1人 年間5日間、子2人 年間10日間、子3人以上 年間15日間 ・入園・入学式、卒園・卒業式についても取得可能 パパママ育休 配偶者とともに産後休業、育児休業をすることができる 病児保育料の全額補助	
外来看護師の業務負担軽減	予約優先診療の導入 ・業務の煩雑さの軽減を図る ・時間外労働の削減を図る	
夜勤業務の負担軽減	夜勤従事者の確保 ・看護職 16名 ・看護補助者の配置 6名以上 月の夜勤回数の上限5回 連続夜勤は2回まで	
看護補助者の配置、業務分担	職員の確保 常勤8名 生活援助を中心とした業務(早出・遅出勤務) 生活援助、環境整備に関するマニュアルの整備 生活援助ケアについて学習	
他職種との業務シェア	リハビリ科 ・食事・栄養に関わる適切なケアの提供(食事介助業務) ・病棟看護介護体制に組み込む仕組みづくり 他職種によるリネン交換 ～業務の効率化・負担軽減を図る ・BOXシーツの導入 ・作業環境の整備	
働き続けられる職場づくり	目標面接、育成面接の実施(年2回) ユマニチュード学習と実践 ・推進委員会を設置し、目標・方針にそって取り組む 「びちびち働き続けたい職場をつくろう」の実践交流 ・各部署のFISH実践の共有(師長会・主任会・ニュース発行) メンタルヘルス・心理的安全を学ぶ機会をつくる	